

本大会は、参加型モータースポーツをめざし、多くの方が参加しやすく安全に楽しくモータースポーツを行うことを趣旨とし、カート競技規則とその付則ならびに本特別規則書を基に従って開催されます。本大会は参加者が協力し合い、上級者の方は初心者の方などに対する配慮等を出来るようにし「ルールとマナー」を尊重しながら、順位にこだわらず参加型モータースポーツを楽しむことを目的とします。

第1章 大会開催に関する事項

1 本規則書の適用するイベントの開催場所・日程	イベント時間	主催	申し込み先
1st 美浜サーキット	2月27日	5時間耐久	美浜サーキット
2nd 幸田サーキット	3月27日	5時間耐久	幸田サーキット
3th フェスティカサーキット瑞浪	4月24日	5時間耐久	フェスティカサーキット瑞浪
4th 幸田サーキット	6月12日	5時間耐久	幸田サーキット
5th タカスサーキット	9月11日	5時間耐久	タカスサーキット
final フェスティカサーキット瑞浪	11月20日	5時間耐久	フェスティカサーキット瑞浪
SP 鈴鹿サーキット(南) Sport Kart Festival	10月29日	5時間耐久	スポーツカートを楽しむ会 r-kart

2 大会目標

- 1) 全チーム完走目標で、参加者全員がイベントを楽しみ、順位にこだわらず完走をめざせるイベントを目指します。
- 2) ペナルティが無くマナーのよいモータースポーツイベント作りを目指します。
- 3) 初めてモータースポーツイベントに参加する人でも、廻りの協力によって楽しく参加できるよう協力して下さい。
- 4) “ルールとマナー”は一人一人考え、守っていくものです。他を中傷せず、まず自分がモータースポーツを楽しみましょう。

3 公式通知に関する規定

本規則に記載されていないイベント運営に関する実施の細目及びドライバーに対する指示細目は、本規則書付則及びイベント通知によって公示されます。なお、公示の方法は代表者にメール送信又はr-kartホームページ又はFBページにて告知するか、開催時に配布されます。

4 延期、中止または取り止め及び変更に関する事項

主催者は、大会の一部あるいは全部を延期、中止、または取り止めることができます。原則としては延期され、イベントの全てが取りやめになった場合エントリー費事務手数料(各主催者の規定によります)を引いて返還されます。また、エントリー及びドライバーはこれによって生じる損失について主催者に抗議する権利を保有しません。

なお、主催者はイベントの内容及び規則をシーズン途中であっても変更する権限を保有します。これに対する抗議は認められません。

第2章 参加に関する事項

1 エントリー費用

エントリー費用 1チーム(持込クラス) ¥50,000 鈴鹿大会は除く

2 エントリーの受け付け

- 1) エントリー受付・・・ 開催日の1ヶ月前からとします。各イベント開催コースのエントリー方法に準じてお手続き下さい。エントリー後はチーム編成登録書をコースへ提出して下さい。
- 2) 参加資格・・・・・・ 健康でカートをコントロールする技能を有し、走行ルール、マナーを熟知し、安全に楽しくイベントが出来るドライバーであること。年齢制限は高校生以上のドライバーで20歳以下は各チーム30%までとします。未成年者は親権者の同意が必要で、25歳未満のSL格式以上の入賞経験のあるドライバーの参加はご遠慮願います。但し、主催者が賞典外などの条件付で参加を認める場合もありますのでお問い合わせ下さい。1チーム最低参加人数は3名以上 8名以下(鈴鹿は6名以下)とします。
- 3) ドライバーの登録・変更 ドライバーの登録・変更は原則一週間前までに確定。一週間前から前日まで可能ですが有料とします(@3,000円)
- 4) スポーツ安全協会(r-club)への加入(4月から翌年3月まで有効)が必要で、(ドライバー全員が対象です。)開催日1週間前までにr-club申し込み専用サイト <http://www.r-kart.jp/rclub/> よりお申込み下さい。※鈴鹿大会は別途、SMSC暫定会員に加入が必要となります。SMSC/TRMC会員の方は費用は掛かりません。
- 5) チーム編成登録書の提出、r-clubへの加入手続き、エントリー費・r-club会費のお支払いが確認された時点でエントリー受付完了とします。
- 6) エントリー受付完了順により、ピットガレージの位置が決まります。
- 7) 鈴鹿大会は2022年ESKシリーズ参加チームを優先エントリーいたします。
- 8) 当日参加受付時に誓約書・車検自己申告書・チームプロフィール・チーム申告書を提出して下さい。受付時間以降の提出は120秒ペナルティストップまたは2LAP減算のペナルティが課せられます。各書式はr-kartホームページの4stスケジュールよりダウンロードして下さい。
- 9) 主催者は理由を示すことなくエントリーを拒否することができ、かつその行為をもって最終決定とします。この場合、エントリーフィー及び保険料は全額返還されます。また、拒否の通知は開催日までに通知されます。
- 10) 一旦受理されたエントリーフィー及び保険料はいかなる理由があっても返還されません。

第3章 車両に関する事項

1 イベント車輛

スポーツカートエンジンクラス エンジン共通規則

エンジンは登録された国内で販売されている汎用4ストロークエンジン又は主催者が認めたエンジンに限られます。

※音量の制限は90db以下です。(計測方法・マフラー排気後方1m排気口横から1mの45°の場所で4000rpm時点の音量)

走行中は95db以下の車両に限ります。コース内で測定しており音量をオーバーした車両にはオレンジボールが提示されます。提示された車両は速やかにピットに戻り音量を下げる対策をしてください。音量は規定内以下に下げられない場合、走行する事は出来ません。

ガソリンはガソリンスタンドで購入できる一般市販の物に限ります。レギュラーガソリン又はハイオクタンガソリン

SPORT KART Enjoy A / B / C 共通規則 市販状態のエンジン

- 1) エンジン本体は市販状態から変更はできません。
- 2) 禁止される事項：点火装置・点火時期の変更、燃料計及び燃料流量計の使用、フライホイールへの加工など
- 3) 使用しているエンジン型式内での純正パーツの交換は認められます。

- 4) ガバナ装置の取り外し、回転リミッターの取り外しは可能です。(WORLD FORMULAはリミッターの交換は不可とする)
- 5) **セルモーターによるエンジン始動を推奨します。**
- 6) 製造者が申請し大会事務局が公認した物の使用は可能です(性能変化が無くエンジンを保護する目的で一般販売されている物)

クラス区分

B&S=BRIGGS&STRATTON

Enjoy A 市販状態から基本的に完全ノーマル		(ゼッケンベース白に黒文字)				
1) 変更できるエンジンパーツは下記の通りです						
エンジンカバー	プラグキャップ	プラグコード	プラグ	ジェット類	フロントギアの歯数	ドレンプラグ
指定エンジン SUBARU EX21/EIKO EX21E/HONDA GX200/YAMAHA MZ200/B&S 206						
Enjoy B 市販状態から基本的に完全ノーマル		(ゼッケンベース赤に白文字)				
1) 変更できるパーツは下記の通りです						
エンジンカバー	プラグキャップ	プラグコード	プラグ	ジェット類	フロントギアの歯数	ドレンプラグ
指定エンジン 上記Enjoy Aに加え SUBARU KX21/Robin KX21R/HONDA GX200SP						
但し、Enjoy Aの指定エンジンを使用する場合はキャブレター及びr-マフラーへの交換は可能とします						
Enjoy C 2021年もてぎK-TAI規則・Enjoyクラスに準じる		(ゼッケンベースは黄に黒文字)				
1) エンジン本体改造・構造は変更されませんが、エンジン本体以外のキャブレター・マフラー・クラッチの変更は可能です。						
2) 上記 Enjoy A・Bに加え変更できるパーツは下記の通りです						
エキゾーストマニホールド/マフラー	インテークマニホールド/キャブレター 最大直径30φ以内					
エアクリナー	クラッチ	フロントギア				
指定エンジン 上記Enjoy A、Bに加え B&S WORLD FORMULA						

各クラス3台以上で成立とします。

フレーム・その他

- 1) フレームは過去にJAF又はCIKの公認を受け、かつ安全に走行できる車輻であること。又は主催者が認めたカート。
- 2) シャーシを保護するカウルは前後・左右とも完全に取り付けられた物であり、一時的な取付は認められません。
- 3) リアタイヤの50%以上を覆う大型リアバンパーが必備です。(CIK公認のリアスポイラーを強く推奨します)
- 4) イベント中、破損や故障による部品交換は認められます。又車両や施設などの破損代においては、自己負担となります。
- 5) 燃料タンクは純正のタンク以外認められないが、純正品がない場合、純正の同容量以内で一般市販用品の交換を認めます。
- 6) プロバイガスの大気開放は禁止。
- 7) ドレンプラグ・オイルレベルゲージのワイヤーロックを必備とします。
- 8) フロントブレーキ付きフレームの参加は可能ですが、プラス5kgの車重加算をします。
- 9) ゼッケンは指定されたナンバーを前後左右に貼付けてください。なお、ゼッケンは参加者でご用意下さい。
- 10) 車両シールドから突起した部品の取付けは認められません。部品の取付けは脱落の無いよう強固に取付けてください。
- 11) サイドミラー(バックミラー)の取付けは自由です。(脱落等の無いようしっかりと取付けて下さい)
- 12) テールランプ(赤灯)の取付けを推奨します。(雨天等安全確保の観点から)
- 13) 予備チェーンの装着は不可とします。
- 14) 雨天時に水の吸い込み防止の為、カバー279-32643-18を取り外しペットボトル等で雨対策することを認めます。その際はスポンジの取り外しを認めます。ただしドライ宣言が宣告された場合5分以内にピットインシノーマル状態に戻してください。

タイヤ

- 1) イベントにおいては国内レンタルカート用タイヤ1セットの使用を認めます。但し、走行に支障をきたすトラブルの場合は競技長の判断によります。
銘柄 BS: YDS(HF) ・DANLOP: DFK2 / DRK-SP ・ADVAN: ED
- 2) 使用できるレインタイヤは国内タイヤメーカーのSLタイヤとします。危険回避のため新品タイヤを推奨します。2セットまで使用可能。

2 車輛検査

- 1) 基本は自己管理です。表彰対象車両に対しての車検を行います。
- 2) 走行前の車両検査は安全走行のための簡易検査です。本来の車両検査はイベント終了後、入賞チーム対象者に対して行われます。各自事前に車両チェック及び体重・車重チェックをお願いします。また、タイムアタック終了後上位チームの重量測定をすることがあります。
- 3) 非合法な部分がありながら、簡易検査で発見されない時も承認を意味するものではありません。イベント中にそれに関する疑義が生じた場合は黒旗の指示を、またイベント終了後に発覚した場合も失格又はペナルティの対象となります。
- 4) イベント終了後、全車15分以上の車輛保管を行ないます。
- 5) 技術委員はスタートした全ての車輛に関し車輛検査を行なう権限を有するものとします。技術委員が検査を行なう際はメカニックは責任を持って車輛の分解及び組み立てを行なわなければなりません。但し関係役員、当該車輛のドライバー及びピットクルー以外は、車検に立ち合う事はできません。
- 6) 技術委員が行なう本条項の検査に応じない場合は失格となります。

3 最低重量

- 1) ドライバー全員の平均体重に車両重量を加えた重量(共に1kg未満切捨て)をAクラス145kg、Bクラス150kg、Cクラス150kg("W/F"は155kg)以上とします。
- 2) 女性ドライバーは重量確認計測を免除し一律60kgとして算定します。(ただし免除は全クラス1名までとします)
- 3) フロントブレーキ付き車両は規定重量に5kg加算されます。
- 4) ドライバーの平均年齢が55歳を超えるチームは規定重量より5kgが免除されます。但し、50歳以下のドライバーがいた場合は無効となります。
- 5) ウェイトを積載する場合はボルト2本で脱落しないよう固定して下さい。

4 車両無線・携帯電話

イベント性を考え車両無線・携帯電話の利用を許可します。違法無線は不可です。器具は確実に固定され脱落の無いようお願いいたします。

5 服装

- 1) 服装は上下つながっているつなぎ(長袖、長すそ)以上を原則とします。グローブを着用(軍手は不可)、シューズは運動靴。カート用レーシングスーツ着用を推奨します。シューズはくるぶしまで隠れる物を推奨します。
- 2) ヘルメットはフルフェイスを着用します。(オートバイ用も可能です) ジェット型等、顎を保護する物が無いものは不可
- 3) リプロテクター及びネックガードの装着を強く推奨します。ご自分の体はご自分でお守りください。

第4章 イベントに関する事項

1 信号(フラッグ)

イベント中ドライバーに対する走行指示は、下記の種類の旗に従い行われます。
フライングに対してはピットペナルティを課します。

- ① 黄旗（振動） 危険信号。速度を落とせ。追い越し禁止。
1本振動：トラックわきあるいはトラック上の一部に危険箇所がある。
2本振動：進路変更あるいは停止準備。全面的または部分的にトラックが閉鎖されている。
- ② 緑旗（振動） トラックが走行可能（クリア）である。
黄旗表示が必要となった事故現場の直後のポストで提示される。（黄旗の解除）
緑端を振らない場合もあります。その場合、当該現場直後に解除。
- ③ 白旗（振動） 当該ポスト管理下にあるトラック区間に相当低速な車両が存在している。
- ④ 赤旗（振動） イベント・走行中止。追い越し禁止。
すべてのドライバーは直ちにイベントを中止し、細心の注意を払いながら必要に応じて停車できる状態でホームストレート上もしくはイベントにて指定された場所に進行すること。停車後の車両への作業は一切禁止する。
- ⑤ 青旗（振動） 予選中：自分を追い越そうとしているより速い車両に進路を譲れ。
決勝中：周回遅れにされようとしている。なるべく早い機会を捉えて後続の車両を先行させる事。
- ⑥ 黒と白のチェッカー旗振動 イベント・走行終了
- ⑦ 黒旗 表示された数字の車両は次にピットローに近づいた時にピットもしくは、イベントで指定した場所に停止しなければならない。
- ⑧ 黒と白に斜めに2分割された旗 スポーツ精神に反する行為をしたドライバーに対する警告。
- ⑨ 赤の縦縞のある黄旗 トラック上にオイルまたは水があるために粘着性が低下している箇所がある。（路面が滑りやすい。）
- ⑩ 橙色の円形のある黒旗 車両に機械的欠陥があり危険、表示された数字の車両は次の周回時に自己のピットに停止しなければならない。

2 公式練習及びタイムアタック

- 1) 全てのドライバーは、タイムスケジュールに定められている時間内、公式練習に参加して下さい。
- 2) タイムアタックするドライバーはチーム内最重量のドライバーが務めます。（イベントにより変更する場合があります）
- 3) 公式練習後タンク内のガソリンを全て抜き、決勝前に指定されたガソリン量を注入する必要があります。

3-1 スタート

- 1) 信号によるブラックアウトにてスタートですが、台数などによって一列隊列によるローリングスタートになる場合があります。
グリッド順は練習走行兼予選で決定しますがコースによっては独自の方式によって決定する場合があります。
- 2) 指定時間内にスターティンググリッドにつけなかった車両、及びエンジンストップしてスタートできなかった車両はピットにて修理した後、コース員の指示によってピットからのスタートとなります。
- 3) チェッカーを受けるドライバーはチーム内最重量のドライバーが務めます。
- 4) スタート進行手順はドライバーズブリーフィングで説明します。

3-2 スタート時の給油量

- 1) クラス公式練習終了後にタンクを空にして下さい。
- 2) スタート時の給油量は全クラス大会指定の2L携行缶を使用し2500gとします。
- 3) スタート後の給油量は **13.給油** を参照ください。

4 出走台数

- 1) イベントの最大出走台数はコース毎に決定されます。

5 イベント中のルール（レーシングカートのルールは適用せず、わかりやすくイエローカード制を適用します。）

（レーシングカートのルールは適用せず、罰することが目的ではなく最後までルールを守って頂き、完走した喜び・カートのおもしろさを理解して貰うためイエローカード制を適用します）

- 1) コーナーは常に先入優先とし、追い抜きを行なう者は前方のカーターの走行を妨害してはならず、また前方のカートは後続車の進路を妨害してはなりません。
- 2) コース員が反則または妨害行為(故意なプッシング、ブロッキングその他の非スポーツマン的行為)とみなした者については、イエローカードを発行します。
- 3) コースインする場合、ホワイト及びイエローラインをまたがず、指定地域まで走行ラインをキープして下さい。
- 4) いかなる場合も、定められた方向と逆に走行してはなりません。（ピットエリアも含む）
- 5) イベント中は、やむを得ない場合を除きコースを外れてショートカットすることは認められません。
- 6) 故意にコースから車輛を離れて走行することはショートカットとみなされます。
- 7) 衝突を避ける為にやむを得ずコースアウトした場合は、その最も近い場所から安全を確認して再びイベントに復帰して下さい。
- 8) イベント中にコースエリア内で停止してしまった場合、他のドライバーに自分が動かないことを示し、それらが過ぎ去ってからカートイベントの障害とならない場所に移動しなければなりません。但し、他を妨害することなく自力で再スタートできる場合にはイベントに復帰できます。
- 9) コース上で再スタートはドライバー自身で行なわなければなりません。（女性・子供の場合、援助する事もあります）
- 10) **コース上でエンジンを再始動する場合はセルモーターによる始動のみとします。リコイル式の場合はコース係員が始動しますので安全な位置に車両を移動させ待機してください。**
- 11) イベント中にゼッケンまたはゼッケンプレート及び計測器が脱落等で判読不可能となった場合は、周回が記録されないことがある為チームにおいて確認チェックする必要があります。計測器を紛失した場合所定の費用が掛かります。
- 12) ドライバーは工具等を携帯することはできません。また工具を取りにピットへ戻ったり、ピットクルーがコース内に立ち入って作業することはできません。
- 13) ドライバー交替やピット作業は決められた場所で行なわなければなりません。
- 14) イベント進行中、定められた場所から出たカートはイベント放棄したものとみなされ、再びコースに入る事はできません。
- 15) 事故や接触に見舞われたカートは、オフィシャルによって検査のために停止を命じられることがあります。
- 16) 本イベントは、不適当もしくは危険とみなしたカート及びドライバーを除外する場合があります。
- 17) トラックとピットロードを区分するクラッシュパッドに接触しないようにしてください。接触した場合は安全走行義務違反としてペナルティの対象となる事があります
- 18) 極端な燃費走行は禁止します。チームベストラップから30秒遅れを目安とします。
- 19) 公式練習または決勝イベント中に全ドライバーの体重を測定することがあります。体重は1kg単位とし端数は切り捨てます。
- 20) あご紐の締め忘れ等、安全に係わる確認が必要と判断された場合、オフィシャルによって確認のために停止を命じられることがあります。その際、問題がなかったとしても抗議は受け付けられません。

6 ペナルティ（安全にイベントを進行、完走する事が目的のためペナルティ制度を導入します）

イエローカード イエローカード2枚で120秒のペナルティストップ又は2LAP減算

- 1) プッシング 2) 無理な割り込み 3) ブロッキング 4) ピットロードでの徐行無視・追い越し・ピット内の制動時タイヤ鳴き
- 5) フラッグ（信号等含む）無視 6) コース外走行やコースアウト時での無理な復帰・スピン後の無理な復帰
- 7) 上記以外オフィシャルが判断した場合。

オレンジカード又は相手に損害を与えた場合 1枚で120秒のペナルティストップ又は2LAP減算

- 1) スポーツマンルールに反した場合 2) オフィシャルが判断した危険な行為 3) ドライバーとしての義務を怠った場合 4) 指定場所以外での喫煙
その他

義務ピット回数不足は1回につき10LAP、重量規定違反は20LAPの減算とします。

ペナルティの説明

- A) ペナルティが重なった場合、周回数の減算又はピットストップペナルティ又は当該のドライバーへ失格が課せられる事があります。
- B) ペナルティ時は該当車輛に対し黒旗が掲示されるかチーム代表者が呼ばれ、上記ペナルティを受けます。
- C) その他の危険と判断されるペナルティ・失格の適用は以下の通りとします。
進路妨害、逆走、フライング、ピットアウト時の進路妨害、安全走行義務違反、ピット作業違反、イエロー（ホワイト）ラインカット、危険行為、その他。
- D) 失格・危険行為、故意にオフィシャルの指示を無視する行為、その他悪質な行為を行ったドライバーは失格となります。
- E) ペナルティは累積される為、走行中のドライバーがそれ以前のドライバーの起こしたイエローカードの累積でペナルティストップや減算を受ける事があります。
- F) ペナルティは競技長の判断により、軽減したり加算される事も有ります。
- G) エンジンをスベアプレームにのせかえる、最低走行時間違反、ダブルチェッカー（チェッカーフラッグを2度受けること）などの行為に関しては競技長の判断により120秒のペナルティストップ又は2 L A P 減算のペナルティが課されます。

7 セーフティカー（以降SC）及びフルコースコーション（コースの都合により導入されない事もあります）

トラブル発生時に競技委員の決定によりSCが介入する。その時は「S C ボード」+「黄旗（振動）」はメインポストで掲示し、SCコースイン後は原因車両は自走してピットに戻ることを禁止します。

- ・セーフティカー導入フルコースコーション宣言後、ピットに入った車両は宣言解除まで給油及びピットアウトできません。給油中の車両はオフィシャルの指示によってコースへ復帰できます。（フルコースコーションの時間が伸びた場合、安全を確認後オフィシャルの指示によってコースへ復帰できる事もあります。）
- ・フルコースコーションは以下の順に行われます。
- A) フルコースコーション宣言、SC介入決定後、メインポストは「S C ボード」+「黄旗（振動）」及び黄色のシグナルコーションランプ（点滅）を掲示し、SCが先頭車両に関係なくコースインします。全ての車両はセーフティカーを先頭に1列に整列しなければなりません。その間の追い越しは禁止です。
※SC人員やコースの都合が揃った場合、SCの指示によりイベントの先頭車両がSC直後に来るまでその他の車両を追い越させ、整列する事もあります。
- B) トラブル等で隊列について行けなくなった場合は、後続車に片手を上げ合図を送りラインをはずして走行して下さい。
- C) フルコースコーション時においても車両はピットに入ることができます。但しその場合はピットアウトできません。SCがピットインした後にオフィシャルの指示の元にピットアウトできます。
- D) SCがピットインしメインポストで緑旗が振動表示されたら、コントロールラインよりフルコースコーションは解除されます。その時コントロールライン手前での追い越しは禁止します。
- E) SC導入中は規定されている走行時間制限は含みませんが、SCがコースイン後、速やかにドライバー交代をして下さい。

プッシングカートを導入するコースがあります。

- 1) コースアウトやチェーン切れの車両に対して、プッシングカートを導入することがあります。ドライバーは安全な位置に車両を移動して下さい。
- 2) 動けなくなった車両はコントロールタワーやポストに向けて手を高く振って助けを求める意思表示をして下さい。
- 3) プッシングカートの導入時は白旗を提示します。
- 4) プッシングカートが到着してからドライバーはカートに乗り、そのカートをプッシングカートが押してピットに戻ります。
- 5) プッシングカートは目立つよう車両後方に黄旗を掲げていますが、近づかないようお願いします。

ニュートラリゼーションを導入するコースがあります。

- 1) ニュートラリゼーションとは・・・https://www.eikoms.com/result/2015/Neutralization_2015_V2.pdf
ニュートラリゼーション宣言後、ピットに入った車両・給油中の車両についてはフルコースコーション時と同じとする。
ニュートラリゼーション中、先頭車両はペースをコントロールする義務があります。

8 ピットイン・ピットアウト及び回数（ドライバー交代）

- 1) 一人のドライバーが連続して40分以上走行する事は禁止します。また最低10分以上の走行を義務付けます。
- 2) ドライバーや車両に不具合の有った場合の対応時間も走行時間に含まれますので、その時間が40分を超えそうな場合は事前にオフィシャルにその旨を申告して下さい。またコースインする際もオフィシャルに申告の後コースインしてください。申告のない場合は規定走行義務違反になる可能性があります。
- 3) ドライバー交代は指定の場所で交代します。その場合、オフィシャルに交代の申告をする必要があります。（ピット滞在時間の制限はありません）
- 4) ピットエリア内安全スピード30km走行。危険と見なされたスピードを出している車両にはイエローカードかピットスルーペナルティが課せられます。
- 5) 参加ドライバーはイベント走行時間の最低10%を走行する義務があります。（5時間イベントの場合、最低30分以上）
- 6) **合計11回以上の給油またはドライバー交代を義務付けます。（イベント時間が短縮された場合もこの回数は変わりません。）**

9 ドライバーサイン

ドライバーサインは次の通りとし、これを怠った者に対してはペナルティを課することがあります。

- 1) コース上で停止した場合は、両手を高く上げ、他の走行車輛に合図する。
- 2) ピットイン、ピットアウトする場合は、他車にわかるよう片手を頭上に高く上げる。

10 完走者と順位決定

- 1) 完走者とはイベントの着順1位の者がコントロールラインを通過しチェッカーを受けた後に5分以内に自力で同ラインを通過しチェッカーを受けたチームとします。
- 2) 「自力」の定義は、他のいかなる人の援助も受けずカート自身もつ動力のみによりコース上を正しい方向に進行できる状態をいいます。
またコントロールラインを通過する際には、ドライバーとカートは一体となっていなければなりません。
- 3) コントロールライン通過後チェッカーを受けたドライバーは徐々にスピードを落とし（追越禁止）コースを走行してピットインしなければなりません。
- 4) 順位はコントロールラインを通過した周回数に基づく完走者で、チェッカーを受けていない車両はチェッカーを受けた車両の後に順位を確定します。
- 5) 規定の時間を終了する以前に誤ってチェッカー旗が表示された場合は、その時点を以ってイベント終了とします。また遅れて（時間又は周回数）チェッカー旗が表示された場合は、チェッカー旗とは無関係に、イベントは規定の周回数で終了したものととして順位が決定されます。
- 6) チェッカー予定時間20分前からの救済（プッシングカート・セーフティカー等）はしません。走行不能となった場合、ドライバーはマシンをコース外の安全な場所に止めチェッカーまでその場で待機してください。その際ヘルメットは外さないでください。

11 ウイナーズハンディキャップ（シリーズポイントには合算しません）

クラス別にハンディキャップポイント（1位:30P/2位:20P/3位:10P）を付与し、その合計により次戦以降下記のハンディを負うものとします。

合計10Pごとに1回目の時給油量を300gマイナスします。1回目の給油ハンディが1200gを超える場合は、2回目の給油時に給油量をマイナスします。本ハンディキャップは各クラスの上位3位以上のチームのみに適用します。同ポイントの場合はその全てのチームに適用します。最終戦においても本ハンディキャップを適用します。

12 ピット及びパドック内におけるルール

- 1) ピットクルーの行為に関する最終的な責任は、チームに帰属します。ピットクルーによる規則の違反は当該ドライバー（チーム）に対する黒旗の提示となる場合があります。登録されていないチーム関係者も同様とします。
- 2) ピットエリア内における火気の使用は全て禁止します。
- 3) 燃料の持込みはすべて消防法により認められた金属製の携行缶に保管して下さい。
- 4) パドック内での走行は30km以内の徐行です。（速度違反はイエローカードの対象となります）

- 5) パドック内での喫煙は指定喫煙所を除き厳禁とします。これに違反したドライバー及びピットクルー・関係者はイエローカードの対象となり大会から除外される場合もあります。

13 給油

- 1) 練習走行終了後は指定場所以外での車両への給油を禁止します。
- 2) 給油作業は消火器持参のうえ、交代するドライバー2名と給油係1名の合計3名で行って下さい。
- 3) 給油は大会指定の2L缶にて行います。
- 4) 給油タイムはEnjoy A /B/ C共に180秒のピットストップタイムが義務付けられます。
- 5) 給油所は基本的に1レーンでコースによって最低3台の給油場所を設けます。(コースにより台数が変更になることがあります)
- 6) 規定台数が給油をしていた場合、給油レーンに入らずスルーを行うこともできます。
- 7) 給油レーンに入った場合スルーはできません、規定台数以下になるまでその場で待機となりタイムカントは進みません。
- 8) スタート後の給油量は全クラス大会指定の2L携行缶を使用し2300gとします。計量は給油所で行います。
- 9) 各チームのパドックにて事前に計量して給油に備えて下さい。**各チームで秤を用意してください。**
- 10) **給油所での計量後はパドックへ戻ることはできません。その際、規定量をオーバーした場合はイエローカードの対象となります。**
- 11) **携行缶のノズルの先端を指で押さえて給油することは禁止します。**
- 12) 消火器を各チームでご用意ください。種類【ABC粉末タイプ】大きさ【4型(内容量1.2kg)以上】使用期限が過ぎているものは不可とします。
- 13) **消火器にはゼッケンおよびチーム名を明記してください。**
- 14) 給油後、走行後のドライバーに対して抜き打ちで体重チェックを行う事があります
- 15) 給油所では給油及びチェーンオイルの塗布以外の作業を禁止します。
- 16) 給油所では必ずドライバー交代をしてください。
- 17) 走行して来たドライバーは給油作業が完了するまでヘルメットは外さないでください。(体調不良の場合は係員にその旨を伝えてから外すことを認めます。)

14 抗議

エンジョイスportカートシリーズはイベントのため、抗議は受け付けません。

15 クレデンシャル (コースによって無い場合があります。)

- 1 チームに対して規定の入場クレデンシャルパスを配布します。
- 1 チームに対して規定の腕章を配布します。

第5章 成績及び賞典に関する事項

クラス別にシリーズポイントが付与され、クラス別に表彰されます。(各クラス年間のべ参加台数50台以上)

シリーズポイントは下記のとおりとし、完走したチームに与えられます。クラス参加台数が5台以下の場合は下記の1/2(端数切捨て)とします。

シリーズポイントは6戦中5戦を有効とします。

有効シリーズポイントの合計が同点の場合は一番高いポイントを獲得した方、それも同点の場合は先にそのポイントを獲得した方を上位とします。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位	13位	14位	15位以降	DNF
ポイント	25	20	17	15	13	11	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

参加台数によって表彰されるチーム数が決まります。

シリーズポイントの裁量は事務局にて判断させていただきます。

シリーズ特別賞(この権利は譲渡転売はできません。)

- 1.《ADVAN賞》ドライ・レインタイヤ共にADVANタイヤでSUBARUまたはRobin製エンジンを搭載し、シリーズ全戦を同一クラスで完走、且つノーペナルティーのチームのイベントのポイント合計(6戦中5戦を有効)が最多のチームにK-TAI202 2のエントリー費をサポートします。
- 2.《BRIGGS&STRATTON賞》ドライ・レインタイヤ共にADVANタイヤでB&S製エンジンを搭載し、シリーズ全戦を同一クラスで完走、且つノーペナルティーのチームのイベントのポイント合計(6戦中5戦を有効)が最多のチームにK-TAI202 2で使用するタイヤを1setサポートします。

第6章 損害補償

オーガナイザー及び大会役員の業務遂行によって起きたドライバー、ピット要員の死亡、負傷及び車輛の損害に対して、主催、後援、協力、協賛するもの及び大会役員は一切の保証、責任を負わないものとします。

第7章 広告に関する事項

ナンバープレートに広告を表示することは認められません。また、参加車両の広告についてオーガナイザーは次のものに関して抹消する権限を有します、ドライバーはこれを拒否することができません。

- 1.公序良俗に反するもの
- 2.政治・宗教に関連したもの
- 3.本大会に関するスポンサーと競合するもの

第8章 保険・共済会

r-club〔(財)スポーツ安全協会〕

- 1) r-kartのスポーツ安全保険にご加入下さい。Enjoy Sport kart全戦で適応します。この保険は財団法人 スポーツ安全協会が主管する保険で日本サッカー協会をはじめ国内の多くのスポーツ団体クラブが加入している保険です。加入は事前に行い、4月から翌年の3月までの期間単位で一度加入するとr-kart共催イベント全てに対応します。年間会費は¥3,000です。詳しくはwww.r-kart.jp、r-clubにてご確認ください。
- 2) イベント中、事故等で怪我などをした場合は、必ず参加コースの指定病院のドクターの診察を受けて下さい。ドクターの診断がないと保険が適用されない場合があります。
- 3) 鈴鹿大会においては当年有効なSMSC・TRMC会員以外はSMSC暫定会員に入会する必要があります。

その他

- 1) この特別規則書に定める項目は、安全や公平性及び、大会の目的と合致する場合、変更することがあります。変更する場合r-kartのホームページ又はフェイスブックページにて発表致しますが、大会当日フリーフィンガで伝える事もあります。
- 2) 開催コースによっては、この特別規則書に無い規則や新たな規則等もあります、その場合、開催コースの規則が優先されます。
- 3) 競技に関する最終判断は競技長に委ねることとします。
- 4) 本大会において撮影された写真及び動画はスポーツカート耐久イベントの普及と振興のためSNS等に公開されることがあります。